

第19期 株主通信

2014年3月期 報告書 (2013年4月1日～2014年3月31日)

Assuring Growth and Success with IT

ITで、確かな成長と成功を

証券コード：3648



AGS株式会社



代表取締役社長

小川 修一

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、政府による経済対策や金融政策の推進を背景とした緩やかな回復基調で推移しました。年初以降も、企業収益の増加から設備投資や雇用・所得環境が改善していく中で、景気回復の動きが確かなものとなることが見込まれております。

当社グループが属します情報サービス産業においては、大企業を中心にIT投資の回復傾向が見られたものの、全体としては小規模な成長にとどまっております。

このような経営環境の下、当社グループは、2014年3月10日に当社株式の東京証券取引所市場第一部への上場を実現するとともに、経営目標である「持続的に成長可能な経営基盤の構築」の更なる前進を図るべく、インターネットデータセンター（IDC）を中心としたデータセンタービジネスの強化・拡大やシステム開発及び運用体制の効率化推進により、中長期的な競争力の強化に取り組んでまいりました。

事業戦略面では、当社グループの事業の中核であるデータセン

タービジネスの拡大に向け、自治体向けクラウド型総合行政システム「PubLinkerCloud」の提供を開始したほか、Web帳票配信サービス「EasyDelivery」、企業向け「仮想デスクトップ構築・運用サービス」など、クラウドサービスのラインナップを拡充しました。

また、新たに当社データセンター「さいたまIDC」のバックアップサイトとなる「西日本DRサイト」を開設し、データセンターサービスの一層の競争力強化に努めました。

組織・体制面では、今後IT需要拡大が一層見込まれる分野である「医療・介護・福祉・ヘルスケア分野のIT事業」への参入を目的としたプロジェクトチームを組成しました。また、連結子会社であるAGSビジネスコンピューター株式会社の完全子会社化など、グループ経営の一層の強化と効率化を図りました。

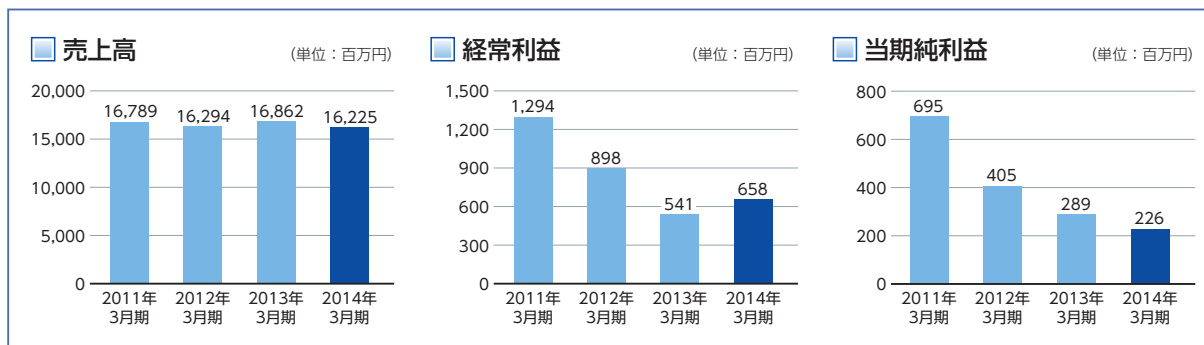
当連結会計年度の業績につきましては、クラウド関連サービスの拡充や公共分野の大型案件獲得、法人・金融分野での取引拡大など、今後の売上増強に向け着実な成果を上げたものの、公共団体及び一般法人顧客向けシステム機器販売が減少したことなどにより、売上高は、16,225百万円（前連結会計年度比3.8%減）となりました。

利益面では、ソフトウェア開発案件の増加や業務の効率化並びに償却費の減少などにより、営業利益は576百万円（前連結会計年度比16.2%増）、経常利益は658百万円（同21.7%増）となりました。当期純利益は、厚生年金基金脱退に伴う特別掛金の支出により、226百万円（同21.6%減）となりました。

2015年3月期については、長期経営計画を着実に実行することにより、経営目標である「持続的に成長可能な経営基盤の構築」の達成を確実なものにしてまいります。

株主の皆様におかれましては、より一層のご理解とご支援を賜りますようお願いいたします。

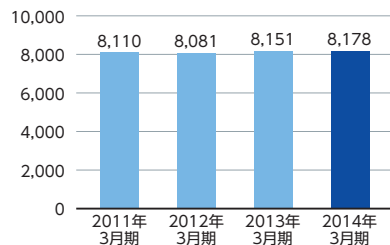
2014年6月



■ セグメント別売上高

情報処理サービス

(単位：百万円)

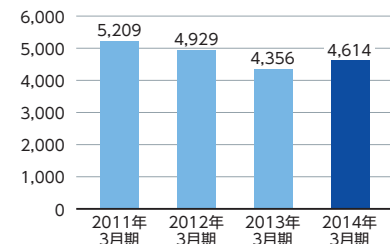


情報処理サービスでは、データセンターを基盤に、大型汎用機を中心とした受託計算サービスとデータ入力・印刷・デリバリー等の周辺業務を併せたトータルなサポートとしてIDCサービス、クラウドサービス、BPOサービスを提供しております。

当セグメントの業績につきましては、公共団体向けの受託業務が減少したものの、金融機関向けIDCファシリティサービスや自治体向けアウトソーシング案件が増加したことなどにより、売上高は8,178百万円（前連結会計年度比0.3%増）、セグメント利益は、業務の効率化並びに償却費の減少などにより、852百万円（同20.9%増）となりました。

ソフトウェア開発

(単位：百万円)

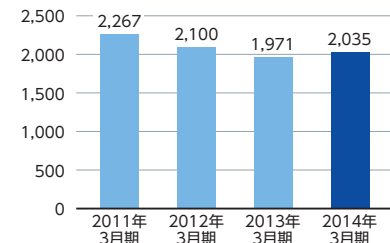


ソフトウェア開発では、長年にわたるソリューション提供の実績とエンジニア経験を活かし、金融機関・公共団体・一般法人など幅広い業界・業種のお客様に対して、情報戦略策定支援等のシステムコンサルティングに始まり、アプリケーション・ソフトの受託開発やネットワークの設計・構築をトータルに提供しております。

当セグメントの業績につきましては、金融機関向けソフトウェア開発案件が増加したことなどにより、売上高は4,614百万円（前連結会計年度比5.9%増）、セグメント利益は716百万円（同5.0%増）となりました。

その他情報サービス

(単位：百万円)

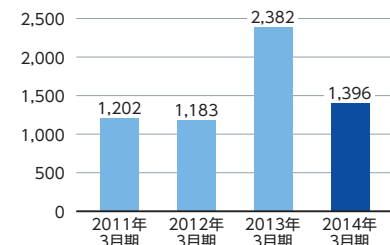


その他情報サービスでは、システムパッケージ商品の提供や導入支援サービス、情報セキュリティや事業継続マネジメントに関わるコンサルティングなどを提供しております。

当セグメントの業績につきましては、金融機関向け機器導入支援サービスが増加したことなどにより、売上高は2,035百万円（前連結会計年度比3.2%増）、セグメント利益は、利益率の低下などにより、177百万円（同10.9%減）となりました。

システム機器販売

(単位：百万円)



システム機器販売では、マルチベンダーとして特定のコンピュータメーカーに依存せず、お取引先の多様なニーズにマッチした最適なコンピュータ機器の選定・販売や、関連する周辺機器・備品、コンピュータ帳票の販売を行っております。

当セグメントの業績につきましては、公共団体向け機器販売が減少したことなどにより、売上高は1,396百万円（前連結会計年度比41.4%減）、セグメント利益は11百万円（同93.7%減）となりました。

■ 2013.09.25

データセンターの安全・信頼性に係る情報開示認定制度の認定を取得しました。

■ 2013.10.01

社内ベンチャー制度を導入しました。

■ 2013.10.15

自治体向けクラウド型総合行政システム「PubLinker Cloud」を埼玉県和光市様へ導入しました。

■ 2013.11.27

ポジティブ・アクション
(女性社員の活躍促進
施策)を宣言しました。



■ 2013.12.01

ISO22301 (事業継続
マネジメントシステム)
の認証を取得しました。



BCMS 599050 / ISO 22301 : 2012

■ 2014.01.01

1株につき2株の株式分割を実施しました。

■ 2014.03.10

東証一部に指定
されました。

10月

11月

12月

1月

2月

3月

内閣府 第2回「カエルの星」認定 ～AGS株式会社 埼玉県内企業で初～

当社、情報処理本部の業務革新が成果を生み出したため、内閣府によるワーク・ライフ・バランスの推進を目的とした「第2回 カエルの星」に、埼玉県内の企業として初めて認定されました。

【カエルの星 概要】

主 催：内閣府 男女共同参画局 仕事と生活の調和推進室

内 容：業務の効率化により、ワーク・ライフ・バランスの充実を図るなどの成果をあげた取組事例を公募し、有識者等で構成する選考委員会での選考を経て大臣が決定します。選定されたチームを「カエルの星」として認定し、授与式(2月3日)にて大臣名による認定書を交付するほか、先進事例として広く周知します。

対 象：企業や団体の中の組織(部・課・班・チームなどの単位)



東京証券取引所市場第一部銘柄になりました。

この度、当社は2014年3月10日をもって、東京証券取引所第一部に指定されました。これも一重に皆様方の温かいご支援の賜物と心より御礼申し上げます。



医療・介護・福祉・ヘルスケア分野のIT事業を開始しました。

【参入の背景】

当社が所在いたします埼玉県は人口10万人に占める医師数が全国一少ない上、急速に高齢化が進展しております。一方、地域医療活性化に向けた行政の政策などにより、電子カルテ化や病院内のネットワーク構築など、医療分野でのIT需要拡大がいつそう見込まれます。このような環境を背景に、これらのニーズを取り込むことにより、当社経営計画の施策の一つであります「新規事業の創出及び新規市場の開拓」を達成するべく、当分野へ参入いたしました。

【事業内容】

- (1) 医事会計システム
- (2) 電子カルテシステム
- (3) 管理会計システム
- (4) 介護関連サービス
介護システム、高齢者住宅管理システム
- (5) データセンター関連サービス
保存文書電子化サービス
データバックアップサービス

データセンター 西日本DRサイト開設

当社は堅牢かつ安全な都市型データセンター「さいたまiDC」を埼玉県に2棟開設し、サービスを提供してまいりましたが、お客様の様々なBCPニーズに応えるため、電力供給会社が異なり災害リスクの低い岡山県にバックアップサイトとなる西日本DRサイトを2014年3月に開設いたしました。

西日本DRサイトの概要

西日本DRサイトの概要は以下の通りになります。

【さいたまiDCマップ】



【西日本DRサイト施設概要】

立地	岡山県岡山市
構造	建物免震、RC構造
床荷重	スラブ面1,300kg/m ²
電気設備	N+1構成 (UPS)、N構成 (発電機)
空調設備	空冷パッケージ+外気冷房
セキュリティ	生体認証、共連れ防止、監視カメラ
付帯設備	レンタルルーム、リフレッシュコーナー、シャワー室

連結貸借対照表(要旨)

(単位：百万円)

科目	前連結会計年度末 (2013年3月31日)	当連結会計年度末 (2014年3月31日)
【資産の部】		
流動資産	5,777	5,470
固定資産	9,121	8,573
有形固定資産	6,485	5,969
無形固定資産	937	796
投資その他の資産	1,698	1,806
1 資産合計	14,898	14,043
【負債の部】		
流動負債	2,707	2,514
固定負債	2,363	2,514
2 負債合計	5,070	5,028
【純資産の部】		
株主資本	9,244	9,025
資本金	1,398	1,398
資本剰余金	473	473
利益剰余金	7,495	7,556
自己株式	△123	△403
その他の包括利益累計額	181	△9
少数株主持分	401	—
3 純資産合計	9,827	9,015
負債純資産合計	14,898	14,043

1 資産合計

前連結会計年度末比854百万円減少して14,043百万円となりました。主な要因は、有形固定資産が515百万円、現金及び預金が443百万円、有価証券が439百万円減少したことなどによるものです。

2 負債合計

前連結会計年度末比42百万円減少して5,028百万円となりました。主な要因は、リース債務が307百万円、未払消費税が116百万円減少したことなどによるものです。

3 純資産合計

前連結会計年度末比812百万円減少して9,015百万円となりました。主な要因は、少数株主持分が401百万円減少したことなどによるものです。

連結損益計算書(要旨)

(単位：百万円)

科目	前連結会計年度 (自 2012年4月1日 至 2013年3月31日)	当連結会計年度 (自 2013年4月1日 至 2014年3月31日)
売上高	16,862	16,225
売上原価	13,393	12,661
売上総利益	3,468	3,564
販売費及び一般管理費	2,973	2,987
営業利益	495	576
営業外収益	96	133
営業外費用	51	51
経常利益	541	658
特別利益	18	97
特別損失	19	423
税金等調整前当期純利益	540	332
法人税、住民税及び事業税	242	159
法人税等調整額	△5	△63
少数株主損益調整前当期純利益	303	236
少数株主利益	14	9
当期純利益	289	226

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位：百万円)

科目	前連結会計年度 (自 2012年4月1日 至 2013年3月31日)	当連結会計年度 (自 2013年4月1日 至 2014年3月31日)
4 営業活動によるキャッシュ・フロー	2,622	498
5 投資活動によるキャッシュ・フロー	△763	△350
6 財務活動によるキャッシュ・フロー	△769	△1,131
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,090	△982
現金及び現金同等物の期首残高	1,986	3,077
現金及び現金同等物の期末残高	3,077	2,094

4 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果、得られた資金は498百万円となり、前年同期より2,124百万円減少しました。

5 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果、使用した資金は、350百万円となりました。前年同期より413百万円減少しました。

6 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果、使用した資金は、1,131百万円となり、前年同期より361百万円増加しました。主な要因は、子会社の自己株式の取得による支出348百万円、リース債務の返済による支出333百万円、自己株式の取得による支出280百万円などによるものです。

会社概要 (2014年3月31日現在)

商号	AGS株式会社 AGS Corporation
設立	昭和46年7月
上場市場	東京証券取引所市場第一部 証券コード：3648
資本金	1,398百万円
事業内容	情報処理サービス ソフトウェア開発 その他情報サービス システム機器販売
従業員	連結 950名
本社	〒330-0075 埼玉県さいたま市浦和区針ヶ谷4-3-25 TEL：048-825-6000 FAX：048-822-7337
東京本社	〒170-0013 東京都豊島区東池袋1-21-11 オーク池袋ビル4階 TEL：03-3984-8471 FAX：03-6386-0911
浦和ソリューションセンター	〒336-0027 埼玉県さいたま市南区沼影1-13-1 ナリア・テラス3階 TEL：048-839-5611 FAX：048-877-3500
連結子会社	AGSビジネスコンピューター株式会社 AGSプロサービス株式会社 AGSシステムアドバイザリー株式会社

役員 (2014年6月19日現在)

代表取締役社長	小川修一
取締役常務執行役員	藤倉広幸
取締役常務執行役員	中西弘幸
取締役常務執行役員	石井進
取締役常務執行役員	近藤克行
取締役執行役員	大庭裕信
取締役執行役員	小原孝幸
取締役(社外)	増古恒夫
取締役(社外)	今井明
常勤監査役	細沼弘幸
監査役(社外)	井立勝己
監査役(社外)	野上武利
監査役(社外)	吉能久芳

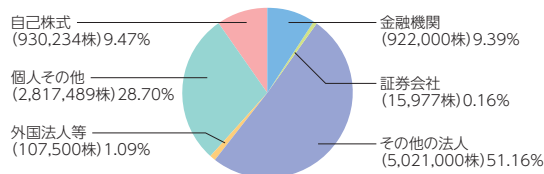
株式の状況 (2014年3月31日現在)

① 発行可能株式総数	32,000,000株
② 発行済株式の総数	9,814,200株
③ 株主数	4,103名
④ 大株主	

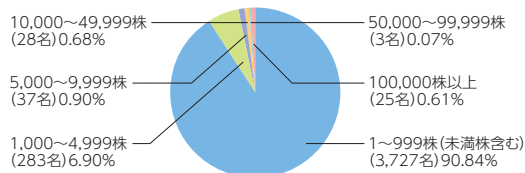
株主名	持株数(株)	持株比率(%)
AGS社員持株会	1,005,800	11.32
大栄不動産株式会社	640,000	7.20
富士通株式会社	600,000	6.75
リズム時計工業株式会社	600,000	6.75
富士倉庫運輸株式会社	500,000	5.63
株式会社りそな銀行	400,000	4.50
株式会社ティー・アイ・シー	300,000	3.38
埼玉県民共済生活協同組合	300,000	3.38

(注) 1. 当社は、自己株式を930,234株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況



所有株式数別株主分布状況



■ 株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 6月

定時株主総会基準日 3月31日

剰余金の配当基準日 期末配当 3月31日

中間配当 9月30日

単元株式数 100株

株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号

みずほ信託銀行株式会社

同事務取扱場所 東京都中央区八重洲一丁目2番1号

みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

(郵便物送付先)
お問合わせ先

〒168-8507

東京都杉並区和泉二丁目8番4号

みずほ信託銀行株式会社 証券代行部

☎0120-288-324 (フリーダイヤル)

公告方法 当社ホームページ (<http://www.ags.co.jp/>) に電子公告により掲載します。なお、電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

お取扱窓口 お取引の証券会社等

未払配当金のお支払 みずほ信託銀行及びみずほ銀行

(みずほ証券では取次のみとなります。)

証券会社に口座をお持ちの場合は、郵便物送付先、電話お問合わせ先及びお取扱店は、お取引の証券会社になります。

ホームページのご案内



<http://www.ags.co.jp/>

当社のホームページでは、会社概要・事業内容をはじめ、ニュースリリース、IR情報などがご覧いただけます。ぜひアクセスしてみてください。



情報セキュリティ
マネジメントシステム



JQA-IM0097
受託計算業務に関わる
汎用機システムの運用管
理及びIDCの運用監視

ITサービス
マネジメントシステム



JQA-IT0050
システム運用部

能力成熟度
モデル統合

CMMI®
レベル3

2006年
6月達成

環境マネジメント
システム



JQA-EM5590
(本社・浦和IS)

データセンターの
安全・信頼性に係る
情報開示認定制度



DC003-1309
[さいたまIDC]
さいたまセンター

事業継続
マネジメントシステム



BCMS 599050 / ISO 22301 : 2012

AGS株式会社

埼玉県さいたま市浦和区針ヶ谷4-3-25

TEL : 048-825-6000 FAX : 048-822-7337

<http://www.ags.co.jp/>



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。